キャラクター名
折重誓

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ソラリス	ワークス	FHマーセナリーB	カヴァー	保育士
オプショナル		年齢	24歳	性別	♂
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	40 %
出自	疎まれた子	経験	絶望	邂逅	欲望：理想の実現

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0	1		2
感覚	2	1	3	1		7
精神	1		0			1
社会	4		0			4

HP	25
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	8		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
呪われし者の銃	射撃	7r+7	0	9		上級P66
		0				★侵蝕ボーナスダイスは別途計算
呪詛の紋章	射撃	8r+7		18		ｺｽﾄ8/ｺﾝｾ＋ブルLv3＋カスLv3
呪詛の紋章@100～	射撃	9r+7		21		ｺｽﾄ8/ｺﾝｾ＋ブルLv4＋カスLv4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

応急手当キット	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者：イフリートの腕	P 執着	N 猜疑心		
元妻：留萌	P 純愛	N 憐憫		
子供：祈留	P 純愛	N 不安		
シナリオ：神原恭太	P 友情	N 不信感		
神蔵耕介	P 好奇心	N 脅威		
昇華)東吾里朱	P 庇護	N 憐憫		
昇華)上坂未来	P 尊敬	N 隔意		

最大財産P: 10	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	―	―	―	―	
効果： C値を－LV								
ブルータルウェポン(3)	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	武器	―	対決	―	
効果： 攻撃力＋[LV*3]、暴走していない場合ダイス-2個。								
カスタマイズ(3)	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	―	対決	―	
効果： 判定ダイス＋LV個。								
氷神の悲しみ(3)	3	3	ﾒ/リ	―	―	―	―	
効果： 判定ダイス＋[LV+1]個、HP3点消費。								
アウトレイジ(1)	1	6	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	100↑	
効果： 判定の直前に使用。C値-1(下限5)、暴走。拒否可能。シナリオ1回。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

境界線用　＋50点まで

おりしげ ちかい。

とある一般の保育園で保育士をしている男。子供の面倒を見るのは上手いが、特別子供好きというわけではない。
2年前に離婚した妻との間には、小学生になったばかりの子供（祈留）がいる。
元々自分の働いている保育園に預け、仕事をしながら彼の面倒も見ている、といった生活だった。
小学校に入った祈留は、学校が終わると保育園に遊びに来るのが習慣になった。
祈留のことを大事に思い、優しく厳しくかわいがっている。

そんな一般人のような誓だが、その裏の顔はFHマーセナリーである。
仕事の合間を縫ってFHからの依頼をこなし、多くのUGNや一般人を手に掛けている。
離婚した理由もオーヴァードに絡むものだった。
元妻の留萌は、高校の時から付き合いのあった同級生だったが、彼女にはオーヴァードのこと、FHのことは隠していた。
しかし3年前のある日、任務最中の様子を目撃されてしまい、完全に拒絶される。
オーヴァードの力を用いて、オーヴァードを殺す。それは彼女にとっては受け入れがたい光景だったのだろう。
FHに繋がりのあった誓には、彼女を処分することも、記憶改竄を行うことも可能だったが、あえてそれを放置した。
自分のことを覚えたまま、震えたまま、どこかで生きていてくれるなら、それでいい。

しかしひとつの誤算は、彼女が「二人の血が混ざった子供」すら嫌悪して置いていったことだった。
まだこの世界の真実を何も知らない子供は、このまま何も知らないまま生きて欲しい。
誓はそう願って、そんな世界を作ろうと目指し始めた。